

近化サミット趣意書

一般社団法人近畿化学協会は創立100周年記念行事も無事終了し、新たな100年に向けて歩みだしました。

ご高承の通り、本会は単なる学界や産業界に限定されない、垣根のない化学者の集いであり、産官学交流を軸に建前より本音を、またサロンの雰囲気大切に諸事業を行っております。そのユニークな活動が産官学のメンバーの多彩なネットワークを構築し、会員相互の融和連繫を密にするとともに、個々人の仕事のうえに有形無形の寄与を施しております。

さて、生産効率の向上に基づく大量生産が人類の発展のための大きな要素であった化学産業も、昨今の社会構造の変化により、新たな発展要素の模索を強いられています。その解決法は、技術の強さを基盤にしたイノベーションによるブランド価値向上への取り組みの中から生み出されると考えられます。

その大いなる一助として、人脈の輪を広げて種々の情報交換が活発に行われる場を設けることが不可欠であり、人材と人脈を誇る近畿化学協会の果たすべき役割は今後ますます重要となって参ります。そのような位置と役割を自認する本会は、研究者、技術者の会員の増強と充実を計ることが喫緊の課題であり、理事会、事業企画委員会および各専門部会において、その遂行に努力が払われております。

このたび、本会の事業企画委員会では、企業の研究・技術部門の所長、部長、役員クラスの皆様を対象に「近化サミット」を企画、開催する運びとなりました。この「近化サミット」は、上記の趣旨に沿って催す本会の新しい行事であり、継続して開催することにより、今後の人的ネットワーク構築の足がかりとなる場を提供させていただければ幸甚に存じます。

会員諸兄におかれましては、「近化サミット」の意図するところをご賢察賜わりますと共に企業の研究・技術開発部門を統括する立場の方々のご参加をお願い申し上げます。何卒よろしくご検討の程お願い致します。

2019年8月

一般社団法人 近畿化学協会

会 長 高部 昭久

事業企画委員会

委員長 西山 豊

「近化サミット」企画

顧 問 中條 善樹

村井 眞二

馬場 章夫